

来年度から、特に低学年の子供たちに対して今できることをしっかりとやりつて改善していきたいと考えている。
(町長)

議席5番

岩崎 博 議員



アルゼンチンとの今後の交流について

Q 今後、友好都市協定を締結する用意があるのか伺いたい。

A ブエノスアイレス市と友好都市協定締結を目指し今後も交流深化していきたい。
(秘書公室長)

Q コロナ禍以前に実施されていた子ども達の派遣について世の中の事情が許せば、是非とも再開してほしいと思うが町の方向性を伺いたい。

A 子ども達の派遣については、アルゼンチン共和国大使館やアルゼンチン茨城県人会等、関係機関と調整を図り、児童派遣事業を再開し、子

ども達の国際感覚を高められる環境づくりに努めていく。コロナ禍でアルゼンチンに行けなかった中学生の派遣も検討していきたい。
(町長・教育次長)

(町長・教育次長)

Q スポーツ分野における交流についても積極的に行うことで、感受性豊かな子ども達の育成や生涯スポーツに取り組む方々の意欲向上につながると思うが町の取り組みについて伺う。

A 今後のスポーツ交流については、2020オリンピックで来町できなかったテニスに関して、令和5年9月から10月頃に日本で開催される楽天オープン等に出場する選手を、境町に招聘しエキシビジョンマッチや子ども達へのテニス教室開催等を計画してまいりたい。また、日本ホッケー協会と連携し、さくらジャパンとのマッチ案も計画していく。今後ともスポーツ交流を幅広く定期的に実施してまいりたい。
(企画部長)

境古河インターチェンジ周辺の開発について

Q あらためて企業誘致の現状と税収等について伺う。

A 境町では、圏央道境古河インターチェンジ周辺の開発と企業誘致を、将

来の町の発展に欠かせない重要な政策として、平成26年から取り組んでいる。今後、境古河IC周辺地区では、大和ハウス工業(株)の大型物流施設「DPL境古河」が令和4年10月に着工し、令和6年4月に竣工予定。猿山・蛇池地区では、日本GLP(株)の「GLP境古河」が令和5年10月に着工、令和8年10月に竣工予定。さらには、C&W株の「LF境古河」の町内進出が決定した。これら大手物流企業3社の誘致により、約千人の雇用と毎年4億円の固定資産税の増収が見込まれる。今後も、更なる産業用地の創出と企業誘致を推進する。
(副町長)

Q 国道354号古河境バイパス工事も進んでおり、同バイパスが開通すれば長田小学校周辺の道路は交通量が増加すると思うが、歩道橋や通学路の整備について伺う。

A 国道354号古河境バイパスと圏央道4車線化の整備が進捗するにあたり、子ども達の安全確保のため歩道の整備や街灯の設置をしていく。蛇池地内のIC東側付近の国道354号と町道の交差点に要望のあった歩道橋の設置については県が令和5年から着手する予定。
(建設農政部長)

Q 圏央道沿線住民から騒音や飛び

石について相談を私も受けている状況であり、国への要望が必要と考えるが町の考えについて伺う。

A 圏央道の防音壁設置については、騒音・飛び石に対する苦情が寄せられていることから4車線化工事完了に合わせて、国土交通省等に地元永岡桂子文部科学大臣を通して境町、五霞町、坂東市、常総市の4自治体で足並みを揃えて要望に行く調整をしているところなので議会も一緒に足並みを揃えて要望をしていくことをご協力をいただきたい。
(町長・建設農政部長)

(町長・建設農政部長)

議席10番

田山 文雄 議員



子育て支援について

Q 当町における様々な子育て支援が実施されている現状の取り組みと、更に国においても支援の拡充が予定されている事から更に充実の考えについて。